

大竹 伸朗 さん

宇和島市在住の現代美術家

大竹さんは東京都で生まれ、現在は本市を制作拠点に活動を展開しています。大竹さんが本市に移住したのは、約30年前。移住後も作品を作り続け、国内外で大規模な個展を開催したりと、幅広く活動を展開しています。

平成30年度に完成予定の宇和島市学習交流センター（パフィオうわじま）では、生涯学習センターホールの^{どん}緞帳が制作されます。緞帳には、「赤松覗き岩遊園地」をモチーフとして、宇和島の風景が鮮やかに描かれる予定で、本市としては初の大竹さんによる公共作品となります。

また、平成30年7月豪雨により被害を受けた人たちの復興支援を目的として、チャリティーTシャツ「宇和島チャリT」1,000枚が市に寄贈されました。今回、大竹さんが製作したTシャツには、前面に旧宇和島市役所の庁舎と宇和島城のイラストが描かれ、背面にはオリジナルのロゴデザインにより「宇和島」の文字が大きく配置されています。8月29日(水)から、きさいや広場で販売され、消費税を除く売上金の全額が義援金として寄附されます。

今回の災害を受けて大竹さんは、「出来ることは少しですが、1日でも早い復興を祈っています」と話してくれました。



▲ 宇和島チャリT